

平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)

事業計画

総説

本会は、昨年公益法人認可60周年を迎えたところであるが、今年度は新公益法人制度への移行のための定款の改正や財務会計基準改正への対応などの作業を進めるとともに、新たな制度を見据えた役員等の選任を行う必要に迫られている。

また昌平橋ビルの建替問題については、千代田区の「外神田一丁目計画基本構想」のもと、区分所有者である住宅供給公社及び千代田区との協議を進めている。わが国の経済情勢もいまだ明確な回復基調を示すに至っていないが、事業の採算性を十分に考慮した建替え計画の一日も早い具体化に努める必要がある。

このような状況のなかで、本会の運営財源の中核をなす事務室賃貸事業は、昨年度大口テナントの退去等により収入の大幅な減少を余儀なくされるに至った。その後空室の一部について新規のテナントを確保することができ、最悪の事態は回避することができたが、建替問題を抱えながらのテナントの確保は、今後ますます困難を増し、新規賃貸料の低下傾向とあいまって、財政運営に大きな困難をもたらすものと予想される。

以上のような諸課題のもとでスタートを切る本年度は、引き続き事業の一層の効率的運営を図るとともに、その内容について抜本的な見直しを行なうこととした。

そのため理事長報酬の1割削減、会員名簿の発行を毎年から3年ごとにするなど、幾つかの見直しを行ない、今年度の事業計画を次のとおり策定した。

事業内容

I 会 務

1 定期総会、役員会等の開催

- (1) 定期総会を年1回開催し、会の運営の方針を定めるとともに、秋には大会を開き、会員の交流・親睦を図る。
- (2) 会の事業の円滑な運営を図るため、随時、代議員会、理事会、常任理事会、常任役員会を開催し、重要な案件を審議する。また、必要に応じ相談役会を開催し、会の運営について意見や助言などを求める。

2 役員等の改選

総会において新たな理事、代議員及び監事の選任を行ない、理事会で会長、副会長、理事長及び常任理事の互選を行なう。

3 会報及び会員名簿の発行

会員相互の交流、親睦に資するため、偶数月に交友会会報を発行して、会の事業運営の状況、各主催事業の開催告知、会員の消息、都区政の動向、各サークル活動の活動予定等を知らせるとともに、広く会員からの投稿を募集して編集掲載する。

なお、会員名簿については、今後3年に1度の発行とし、今年度は追補版を発行することとする。

4 会員の慶弔

(1) 長寿者に対する祝賀

白寿、米寿、喜寿を迎えられた会員をお招きして、その労をねぎらい長寿を祝福する。

(2) 叙勲受章者に対する祝賀

廃止する

(3) 物故会員に対する敬弔

物故された会員に対しては、香典を送り、謹んで弔意を表する。

II 行事及び事業

1 施設見学会の実施

会員の見聞を広めるとともに、その健康の増進に資するため、春、秋の2回施設見学会を実施する。

2 新年賀詞交歓会及び新入会員歓迎会の実施

1月に新年賀詞交歓会を開催して、新年を祝うとともに、会員相互の親睦交流を図る。また、2月には前年中に入会した新会員を招き歓迎会を開催する。

3 相談事業の実施

会員及びその家族を対象として、毎月、法律相談及び税務相談を実施する。

4 その他主催事業の実施

会員の要望に即し、健康講座等を開催するほか、囲碁大会、麻雀大会、ゴルフ大会等を実施し、会員の交流と趣味の充実に資する。

5 各種サークル活動への支援

会員の自主的な運営による趣味等のサークル（謡曲、小唄、短歌、俳句、麻雀、囲碁、研究会等）の活動を奨励して必要な便宜を供与する。

III 公益事業

1 社会福祉事業等への助成

本会の社団法人であることの公益性に鑑み、社会福祉事業等を行う団体に対し、寄付及び助成を行う。

2 講演会の開催及び団体に対する後援

(1) 時宜に即した講演会を開催し、一般に公開する。

(2) 財団法人東京都弘済会等友好団体の公益活動に対し後援・協力をを行う。

IV 交友会会館の維持管理及び事務事業の執行

- 1 会館利用者及び賃借人の快適な利用及び安全と利便に資するため、随時、施設の点検、整備を行い、管理運営に万全を期する。
- 2 大都市退職者団体と友好関係を維持し、新公益法人制度移行に関する情報の交換、協議等を行い、会の発展のため共同して活動する。本年度は神戸市主催で開催する。
- 3 昌平橋ビルあり方検討会等、会館の建替問題や滞納テナント問題に積極的に取り組む。
- 4 その他、執行体制の整備を図り、事務事業の改善効率化に努める。

平成23年度収支予算(案)

総括表

(単位：千円)

I 事業活動収支の部

番号	収入科目	予算額	前年度予算額	増△減
	事業活動収入	67,144	66,314	830
1	特定資産運用収入	400	655	△ 255
2	会費収入	8,168	9,004	△ 836
3	事業収入	49,992	46,840	3,152
4	寄付金収入	400	400	0
5	雑収入	8,184	9,415	△ 1,231
	事業活動支出	74,999	79,333	△ 4,334
1	事業費	61,228	53,910	7,318
2	管理費	13,772	25,423	△ 11,651
	事業活動収支差額	△ 7,855	△ 13,019	5,164

II 投資活動収支の部

1	投資活動収入	0	0	0
2	投資活動支出	6,100	6,100	0
	投資活動収支差額	△ 6,100	△ 6,100	0

III 財務活動収支の部

1	財務活動収入	0	0	0
2	財務活動支出	0	0	0
	財務活動収支差額	0	0	0

IV 予備費支出

	予備費支出	1,000	1,000	0
--	-------	-------	-------	---

	当期収支差額	△ 14,955	△ 20,119	5,164
	前年度繰越収支差額	10,000	13,637	△ 3,637
	次期繰越収支差額	△ 4,955	△ 6,482	1,527